

(別紙様式)

箱根町立小・中学校統廃合準備委員会検討部会の会議結果概要報告書

19年1月16日

部会種類	設備・備品調整検討部会 (第1回)
開催日時	19年1月9日(火) 16時～17時30分
開催場所	分庁舎4階第6会議室
出席者	代表：高梨校長、関野校長 構成員：竹内、小野、蒲田、加藤、朝倉、池之谷、今野、和田、下田、鈴木学校統廃合担当課長、関田
議題及び検討・調整結果等の概要	<p>議 題</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 箱根町立小・中学校統廃合準備委員会設置要綱等について(検討組織体系図、検討イメージ)</li><li>2 学校統廃合推進にかかる主な作業フロー(案)について</li><li>3 検討部会の今後の進め方について</li></ol> <p>概 要</p> <p>過日住民合意を得た町立小・中学校統廃合計画に沿い、平成20年4月の統合体制スタートへ向け、学校統廃合を推進していくための検討組織として、「箱根町立小・中学校校名選定委員会」及び「箱根町立小・中学校統廃合準備委員会」を、また、同準備委員会に「箱根町立小・中学校統廃合準備委員会検討部会」を併せて設置した旨の確認。その後、部会における今後の検討の進め方等について協議。</p> <p>【協議した主な内容(項目)等】</p> <p>●備品移設について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・最終的には平成20年4月に授業ができる体制にするということが大前提。</li><li>・平成20年4月の体制スタートに合わせ、必要なものを移設する。廃校となる学校の中身を空にするわけではない。不用備品や余剰備品の処分については、体制スタート後に実施していく考え。</li><li>・基本的には19年度末(20年3月)の休業期間中に一斉に運び出したいという考え。</li><li>・細かい備品や動かせるようなものがあれば、また受け入れる側の学校で置き場所が決まっているのであれば、夏休み中などに一部作業するということも考えられる。</li><li>・図書についても検討していく。</li></ul>

<p>議題及び検討・調整結果等の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点での備品移設内容は授業が実施できる必要最低限のものであるので、今後必要な確認、調整をしていく。</li> <li>・移設備品リストの確定は最終期限を9月末頃としたいと考え。</li> <li>・最初の作業として、どこの学校へ何をどのくらいの数運び出すか、また、どこの学校から何がどのくらいの数運び込まれるかを確認し、その後現場を確認する。(その作業の中でプラスαの要素も考えていく。)</li> <li>・あるもの、使えるものは上手く使い回すということが大原則であるが、部会メンバーにより各校備品の現場確認をした上で、どうしても購入しなければならない備品については予算化を図っていきたいという考え。 (統合を機により良い教育をとということで、新規に購入する備品もあり得る。)</li> </ul> <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級規模は40人学級。</li> <li>・学級規模、クラス数等は「学校運営・教育計画検討部会」での検討事項である教室配置等との関連があるので上手く調整していく。</li> <li>・文書管理のことや給与、旅費、町からの補助金に伴う事務作業の洗い出しなどもこの部会で計画的にやっていく。</li> <li>・備品管理について、新校での備品台帳、管理方法を検討する。(パソコンを活用した台帳・ラベル作成等)</li> </ul> <p>●次回の打ち合わせ内容(課題)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各校で移設備品リストのチェック(数量、内容)をし、その結果を確認する。</li> <li>・今後の具体的な行動を考えていく。</li> </ul>
<p>会議資料</p>	<p>箱根町小・中学校統廃合準備委員会設置要綱、箱根町立小・中学校統廃合準備委員会検討部会設置要領、統廃合にかかる検討組織体系図、統合にかかる検討組織における検討イメージ、学校統廃合推進にかかる主な作業フロー(案) 他</p>